

令和4年 春期金沢中部地区推進連絡会

- 1 日時 令和4年5月24日(火) 18:00~19:30
- 2 場所 いきいきセンター2階
- 3 参加者 (地域側)自治会等地域団体関係 27名
(支援チーム、その他行政側)
- | | | |
|----------|----|-------|
| 区役所 | 8名 | |
| 区社会福祉協議会 | 3名 | |
| 地域ケアプラザ | 5名 | 計 43名 |

4 内容要旨

(1) 開会あいさつ

金沢中部地区連合町内会・金沢中部地区社会福祉協議会会長

- ・ 地域のふれあい活動については、「金沢ささえあいプラン」の「出会い・ふれあい・支えあい～誰もが安心・安全に暮らせるまち～」を念頭に、4部長中心に実施している。
- ・ 4/23に開催された中部地区社協の総会などで今年度の取組については説明してきた。
- ・ 昨年コロナ等でいかに「みなさんが苦労したのか」、そして、感染状況によるが「今年どうしていくのか」、「どう対応したらいいか」をみなさんの知恵を出し合い、アドバイスをいただく場にしたい。

(2) 副区長あいさつ

金沢副区長

- ・ 金沢区は人口減少・高齢化が進んでいる状況を踏まえて、「訪れたい、住みたい、住み続けたいまち」を目指して、地域のみなさまと一緒にまちづくりを進めていきたい。
- ・ 特に、防災に関しては共助の取組を進めるため、新たな補助金を設けたので力を入れていきたい。
- ・ さらに、子どもたちが地域へ目を向けるきっかけにもらうため、「防災教育」・「福祉教育」の取組も進めていく。これらを地域のみなさまと一緒に進めていき、金沢区のまちづくりを進めていきたい。

(3) 出席者紹介

- ・ 地域支援チーム（地区支援チームリーダーから紹介）
- ・ 地域参加者（地区社会福祉協議会事務局長から紹介）

(4) 第4期金沢ささえあいプラン 区域計画（金沢区福祉保健課事業企画担当）

(5) 令和4年度事業や助成制度の概要（地区支援チームリーダー）

(6) 第4期金沢ささえあいプラン 地区別計画

<策定までの経緯>（地区社会福祉協議会事務局長）

- ・ 2020年10月の地区推進会議でアンケートを取った。その結果から見えてきたのは、中部地区は「友好的で交友関係がある」「つながりがある」「担い手が高齢化してきている」ということ。それとともにたくさん出てきたのが、「福祉って？社協って？」というもの。そのため、活動を通して知ること、すそ野を広げていこうということになった。
- ・ 昨年の春期地区推進連絡会もコロナ禍であったため、質問票を活用し、それについて話す形式とした。その結果、「何か役割を担うことが楽しい」「仲間が増える」「負担というのは少なくないが責任を果たせないというのが何よりつらい」「活動を伝えることで楽しさが広がって担い手になれた」「社協がわからない」というのがあった。それらを踏まえて2021年10月の地区推進連絡会での策定に至った。
- ・ その際、「今やっていることは全部伝えたい」「誰にとってわかりやすくすればいいのか」「伝えたい

とによって、地区社協の全体像が見えて、自分のやっていることの位置づけや誰にどんな働きかけになっているのかわかればやりがいにもつながる」ということでまとめた。

- ・ 地区別計画の「出会い・ふれあい・支えあい～誰もが安心・安全にらせるまち～」の「誰もが」に多様性を込め、4つの部門に分けた。
 - 1 「見守り・助け合う安心安全のまちづくり」
 - 2 「出会いときっかけで交流する地域づくり」
 - 3 「ふれあい・つながる支えあいの仲間づくり」
 - 4 「情報共有・発信し人を育む仕組みづくり」
- 各活動について各部会から説明する。

【見守り・助け合う安心安全のまちづくり】

《まちの安全を守る取組》

〈泥亀町内会長〉

○防災訓練

- ・ 防災訓練を10月～11月に実施。初期消火訓練、緊急時対応訓練（AEDの使用方法和心臓マッサージの方法を学ぶ）、起震車で地震の揺れを体験、市民防災センターでの体験と見学など。
- ・ 今年は、東京（有明）の防災体験学習施設「そなエリア」に行く予定。

○防災備蓄

- ・ 町内会館に物置を設置（今回追加）。備蓄台帳に基づき消費期限等も管理している。

〈谷津町内会長〉

○家庭防災・防犯

- ・ 家庭防災員の方々の活躍の場として、今後は講師役を担ってもらおうと考えている。
- ・ 居住している大学生に、振込詐欺防止の啓発に協力してもらっている。

○交通安全のための訓練

- ・ 金沢警察署や交通安全協会と協力して、高齢者・子ども向けの講習を実施している。

〈片吹町内会長〉

○防災防犯のまちづくり

- ・ 春は、防災防犯訓練として、能見台消防署長と金沢警察署生活安全課の方を講師に迎えて啓発活動をしている。秋は、防災訓練として、初期消火、起震車、煙体験などを片吹公園で実施。
- ・ 12月に西柴中学校で行われる訓練に参加。防災防犯部員を中心に毎月2回防犯パトロールを実施。
- ・ 登下校の見守りとして、「学童見守り隊」というボランティアの方々も活動している。

○防災訓練

- ・ 地域の一時避難場所である介護施設の敷地を利用して、避難訓練を実施した。
- ・ 町内会の組織として昨年度防災部を立ち上げ、町内会として防災備蓄の内容を整理した。
- ・ いざという時の担当決めなど組織整理をした。備蓄についてなど記載されたマニュアルも整備した。
- ・ 昨年度は、厚木にある神奈川県防災センターに行き、体験学習を実施した。
- ・ 今年度は、感染症対策を工夫したうえで、対面的な防災訓練、避難訓練を実施したい。

〈東谷津町内会長〉

○防犯パトロール

- ・ 毎年6月以降、毎週土曜日に夜8時から7つの班長による防犯パトロールを実施している。
- ・ 毎週実施し、警戒しているということアピールすることにより、防犯としてやる意味がある。

〈ハイテラス金沢文庫自治会長〉

○防災訓練

- ・ 火事を想定した訓練。管理人室からサイレンを鳴らし、それが聞こえない部屋がないか、公園利用者が聞こえるか、いわゆるサイレン音の盲点がないかを確認した。
- ・ マンションの防災に関するビデオを観賞。水消火器を7台準備し、子どもも含め取扱訓練を実施。
- ・ 避難場所として指定されている西柴小学校への夜間避難訓練を実施した。

○防犯

- ・ コロナ禍の影響で入居者の顔や家族構成がわからなくなっている。防犯面でも良くないので、マンションの敷地内に限定し、役員3名であいさつ運動を始めた。あいさつが活発なマンションは防犯性が高いとされている。不審者が入りづらくなる雰囲気づくりを目指し、あいさつ運動をしていく。

〈城山町内会長〉

会長に就任したばかりでお話してることがないのですが、これを機会に地域のことを勉強し、230世帯の城山の皆さまに満足していただけるような交流のある地域づくりをしていきたいと思っている。

〈西柴町内会長〉

○防災

- ・ 秋に1度訓練。防災委員5分区。約30班 各班に防災委員を配置。安否確認訓練をしている。住民参加の炊き出し訓練も実施。
- ・ 町内会規模が小さいため食料備蓄は自助が主となっている。防災備蓄庫では、発電機など発災時に使う機器類を保管している。

○防犯

- ・ 月2回、防犯パトロールを実施。ブロック毎で回しており、1ブロックあたり1年に2～3回実施。

《住民の生活を見守る取組》

○ふれあい訪問 〈民生委員児童委員〉

- ・ 1人暮らしの方と病院をどうやったらつなぐことができるかが課題。ケアプラザや病院への連絡を勧めたが、自分ではなかなか難しい様子だった。そういうこともあるので、月に1回は、短時間でもいいので玄関を開けて顔を見に行くことの必要性を感じている。

○ぼたんちゃんホルダー 〈泥亀町内会長〉

- ・ 2年前から泥亀地域ケアプラザと連携して「見守り」の一環として実施している。
- ・ 泥亀地域ケアプラザで登録者の名前、住所、連絡先、かかりつけ医などの情報を管理しており、外出先で倒れたりなどした場合、泥亀地域ケアプラザに連絡することによって、ホルダーナンバーから特定することができる。費用は町内会負担としている。
- ・ 65歳以上にはぜひ持ってほしいと思っているが、なかなか広がっていかない。
- ・ 泥亀地域ケアプラザの管轄外の地域が登録できていないのも課題。

《青少年を健全育成する取組》

- 「社会を明るくする運動大会」の開催と「ミニ集会」の開催 〈地区社会福祉協議会事務局長〉
毎年、いつどこで何をするか悩んでいるのをやめ、日程と内容を決定し実施しやすいようにしている。

【出会いときっかけで交流する地域づくり】

《多世代と交流する取組》 〈世代交流部会長〉

○八景島スタンプラリー

- ・ 6月12日（日）アジサイ祭りとは連携して実施する予定。

○紙ヒコーキを飛ばそう

- ・ 夏休み最初の日曜日に実施予定。例年ハイテラス金沢文庫の集会室を借りて、紙ヒコーキや折り紙、バルーン作りを実施予定。外でスイカ割りも企画している。

○みかん狩り

- ・ 11月に実施予定。昨年は233名もの人が参加。楽しい1日となった。

《子育てを支援する取組》 〈子育て部会長〉

○親子の居場所「ふらっと♪」

- ・ 「現場の負担感なく楽しい場所を作っていきたい」、「楽しい場所に人は集まってくる」の精神で、ふれあい会館を借りて「ふらっと♪」を開くことにした。
- ・ 手指消毒や連絡先登録等感染対策万全にし、万が一のことがあっても連絡が取れるようにしている。
- ・ いつでも“ふらっと”来てもらえる場であり、継続して人が集まる場所には「私も一緒にやりたい」という人が手を挙げてくれるということを実感している。
- ・ 「ふらっと♪」は場所が良い。中部地区の地の利を生かした場所になったと思っている。
- ・ 中部は今まで顔つなぎの場がチャイママだけだったが、赤ちゃん訪問員として話をする際に、チャイママや「ふらっと♪」、とどこ、子育て支援者が来る場所があると言えるのは大きい。

《出会いの機会を増す取組》 〈地区社会福祉協議会事務局長〉

○「中部でつながるふれあいマルシェ」と「中部でつながる楽々フリマ」

- ・ 長い歴史、抜群の知名度、絶好の立地 中部地区は中部の人だけのものではなく色々な人を受け入れる場として開催。
- ・ マルシェは手作り品を中心、フリマは出店理由が付けやすいのではじめましての方が出店してくれる企画になっている。

【ふれあい・つながる支えあいの仲間づくり】

《高齢者交流を支援する取組》 〈高齢者部会長〉

○ふれあいいいききサロン

- ・ 昨年はコロナ禍で積極的には活動できなかったが、時間の短縮や1回の人を減らし回数を増やすなど、コロナ禍でもできるようなコツをつかんできた。
- ・ 講演会も実施した。区役所から風水害講座、警察から詐欺講座、他にもエンディングノートの書き方、日本茶の入れ方など。作品展も実施した。各町内会で日ごろの趣味で作ったものを出展してもらったり、切絵や写真展などもやっている。
- ・ 高齢者は人との関わりが少なくなると笑顔や会話が減って、言葉が出てこなくなる。人と顔を合わせることの大切さを実感している。

《住民の絆を深める取組》 〈谷津町内会長〉

○自治会・町内会の祭り

- ・ 大きいもので谷津浅間神社のものがある。今年実施できるか未定。

《主体的に活動する担い手を増やす取組》 〈地区社会福祉協議会事務局長〉

○地域ふれあい活動「ふれカツ」

- ・ 色々なきっかけで出会った人が参加した人が担い手となってくれるように開催している。
- ・ それ以外にマルシェをきっかけに手芸グループができたとも聞いている。

【情報共有・発信し人を育む仕組みづくり】

《情報を発信する取組》 〈広報部会長〉

○広報紙「ふれあいの和」

- ・ 地区社協や町内会活動を広報紙「ふれあいの和」を発行することにより知ってもらう活動。
- ・ 6月号には、前回の総会、地区推進連絡会、地区社協の新メンバーの紹介をする予定。
- ・ 次は10月と2月に発行予定で、町内会自治会行事の記事や写真を載せる予定。

《情報共有の仕組みを整える取組》 〈地区社会福祉協議会〉

○広報誌の発行

- ・ 今後は情報発信だけでなく、読み手の意見を聞くことや、人材募集もできたらと考えている。
- ・ 情報の共有拠点として、ふれカツを開催している。その中でオレノバでは、講座の趣旨を決めて1年通して学習してもらうこととしている。今回はスマホ教室で、参加自由なので参加してほしい。

《地域の人材を受け入れる仕組みを作る取組》 〈地区社会福祉協議会事務局長〉

○地域活動者との顔合わせ会

- ・ 地区社協の仕事は縦に長い町内会を横につなげるのが仕事だと思っている。
- ・ 地域活動者との顔合わせ会を昨年9月に実施した。
- ・ 今後、SNSの活用やボランティア団体や各種施設ともつながっていきたいと思っている。

(7) 意見交換要旨

- ・ コロナ禍で、一人暮らしの方は話し相手がいないことや、外出もしないことで認知症が進んでいる方がいる。そういう人のためにも早く再開したく活動を再開した。なるべく休まずに開催したい。
- ・ 今後は男性参加者を集めるにはどうすればよいかということと、木の伐採等をみんなでやりたい。
- ・ 地域の方が、毎朝集団登校する1年生にコミュニケーションを取ったり、一緒に登校や見送りをしてくれたりしており、ありがたいと思っている。
- ・ 町内会の取組を、どうしたら子どもたちに楽しくつなげられるかを考えていきたい。
- ・ 中部地区は新しい住民と昔からの住民が入り混じっている地区だと思う。昔からの住民も少しずつでも変わっていかねばいけないことを伝えていきたい。

(8) 閉会あいさつ 金沢中部地区社会福祉協議会副会長

- ・ みなさんのこういった活動を通じて、誰もが安心して安全なまちづくり、地域づくりができていく。
- ・ 各地域の行事も再開されつつあるようで、それが、テーマである「出会い・ふれあい・支えあい～誰もが安心・安全に暮らせるまち～」づくりだと思う。